



262

若竹だより

【巻頭言】

百花繚乱

—みんな別々でいい—

園長 野田大燈

愈々本年も年末に入り、特に中三生は進学問題で心落ち着かない日々を過ごしています。

12月のことを「師走」と称し、普段「師」と尊敬される人でも右往左往すると言うのですから子ども達なら当然といえるでしょう。

今年は近年になく大勢の園生が入園してきました。

「十人十色」と言う言葉がありますが、小学2年生から中学3年生までの園生が共同生活をしています。

顔形が異なるように能力も個性も、そして育ってきた環境も様々な子ども達が学園と言う家庭で生活していますのでトラブルが起きても当然でしょう。

トラブルを起こしながら共同生活のルールを学び成長して行っているのです。

古い歌で恐縮ですが「私の彼は左利き」と言う歌詞がありました。

実は私も左利きなのですが、両親が厳しく右利きに直してくれました。

多くの人達が右手を使うので、左利きでは人目について苛められたり不都合が起きて悲しい目に合うからと親心で直したのです。

でも親の見れていない部分は左利きのままです。調べてみますと、何と左利きは世界でも10%程度だそうです。

どうしたことか人間は右利きに仕組まれているようで、だからこそ左利きが目立つのでしょうか。

最近の学説では、右利き左利きは脳の左脳右脳に関わっているそうで、左脳は論理的思考を得意とし、右脳は感覚的思考を取るそうです。つまり右利き・左利きの相違だけでも個性が異なると言う事だそうです。

学園に居る子ども達全員が同じ顔で同じことを考えて同じ行動するとしたら背筋が寒くなりますね。

左利きもいて右利きもいる。大きい人も小さい人もいる。男子もいる女子もいる。

だから楽しいのです。「百花繚乱」と言う言葉があります。赤・青・黄・紫・白・黒、様々な色をした花が一斉に咲けば素晴らしいでしょう。

赤も青も共に個性です。赤い花が赤く咲いて白い花が白く咲く。

私たちは白い花を赤くしようとしてはいけないのです。

赤い花を見事な赤色に咲かせる支援をすることが仕事なのです。

植物には肥料が必要であるように、人にも肥料が必要です。でもその肥料には苦しいことや悲しいことも必要なのです。

栄養価の高い肥料で育てられてしまうと、大風が吹いたり、寒かったりすると倒れたり枯れたりしてしまうのです。

幼い頃に苦しい体験や悲しい思いをしただけ強く優しく生きられるのです。

そして人それぞれが人真似ではなく、自分らしく生きることを「百花繚乱」と言うのです。

—了—

ウォークラリーな 1 日

ウォーク ラリー



11 月 6 日(金)、毎年恒例になっている若竹学園最大級のイベント、ウォークラリーが行われました。今回は 81 番札所・国分寺から 82 番・白峯寺、83 番・根来寺を通り、香西寺まで歩くルートを通りました。数か月も前から毎日のように歩く練習をし、意気込み十分で臨んだ今回のウォークラリーは約 26 キロ。高低差が強く険しい道もありましたが、練習の成果を十分に発揮することができた子ども達が多かったように思います。中にはゴールからさらにサンポート高松近くまでの約 30 キロを歩いたグループもあり、子ども達の元気を思い知らされました。

歩いた後はスタミナ太郎で夕食、食べ放題です。焼肉やお寿司、スイーツやデザートなど多様な食べ物があり、食べ放題ということもあってウォークラリーで消費した体力を補充するように皆バクバクと食べていました。その後、温泉で疲れた体を癒し帰園しました。

帰ったとたんにくっすりな子どもが多かったですが、その疲れは頑張ったからこそ得られたものであると思います。そのような疲れと充実感に包まれたウォークラリーは、初めての子どももそうでない子どもにとっても非常に充実したものとなったのではないかと思います。

始まるよ！



いざ行かん



これはきつい…



あとちょっと。
頑張れ！



休憩！



ゴール！



疲れた。飯だ！



肉！



寿司！



スイーツ!!

最後は
温泉でゆっくり…

お疲れ様！

12 月若竹学級だよ！

実りの秋

若竹学園がある五色台では、今年も多くの果実が実りました。みかんや柿、どんぐりなどが豊作で、へんろ小屋の脇に植わっている柿の木にもたわわに実っており、それらを使って干し柿づくりに挑戦しました。何しろ初めての経験でしたので一つ一つの作業に楽しさと驚きの連続でした。紐で結わえることに気づかず軸を短く切ってしまったたり、アルコール消毒をせずに干してカビが生えてしまったり、結局は食べることができなかつたのですが、失敗から学ぶことも多かったです。



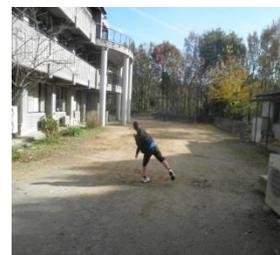
クラブ活動

「今週はクラブあるん？」学園生は、週に一度、金曜午後のクラブ活動をととても楽しみにしています。

一人一人の得意なことや長所を伸ばすために、学園生の要望や担当者のもち味を勘案して活動内容は学期ごとに少しずつ変えています。

2 学期は新たに「科学クラブ」が加わりました。ここでは身近にあるモノを使って不思議な現象や疑問、課題を究明しています。『紙とセロテープだけ使って生卵を校舎 2 階から落下させて、割らずに着地させられるか』先日、行ったこの実験ではみんなで相談して様々な方法を考え、何個かの卵を割る失敗を

重ねながらも、最終的には見事割らずに着地させることができました。実験を成功させたときの学園生の嬉しそうな表情がとても印象的でした。



子どもらの成長

早いもので 2015 年もあとわずかとなりました。一年通して子ども一人ひとりの様子を見てみると心身ともに大きく成長したことを感じています。

学習面では、振り返りがよくできるようになりました。感想や反省に加えて、次の学習にどう活かしていくのか、目標に向けて躍進している姿が見られます。

また、生活面では、お遍路さんへの御接待、友達への優しい声かけなど思いやりの気持ちが育っているように感じました。自分のためでなく、みんなのために何かをして喜んでもらう姿が多く見ることができました。2015 年は本当に素晴らしい一年でした。そして、2016 年はもっともっと素晴らしい年になるように一日一日を大事に過ごしていきたいと思ひます。

スペイン



交流会

11月 行事

6 日 ウォークラリー

17 日 買物学習

19 日 スペイン参事官交流会

11 月 19 日(木)、スペインから日本大使館の参事官さんが来園され、子どもたちと交流する機会がありました。四国遍路を歩いて回られており、子ども達も一緒に歩きました。ウォークラリーで鍛えられた健脚がここでも発揮され、雨上がりの足場の悪いなかでしたが、楽しく交流しながら歩くことができました。

その後、若竹学園で交流会を行いました。慣れない英語での自己紹介や参事官さんとのお話など、日常では経験することのない、貴重な体験になったのではないかと思います。この交流を期に、外国の方と関わる楽しさや異文化への興味などが芽生え、子ども達の世界が広がってくれればうれしいな、と感

じます。



在籍人数 平成 27 年 11 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	1	5	6
	中学生	7	5	12
	その他	0	0	0
	計	8	10	18
女子	小学生	3	0	3
	中学生	4	2	6
	その他	0	0	0
	計	7	2	9
合計		15	12	27

だいぶ肌寒くなってきましたが、子どもは風の子、元気です。一緒に外遊びなどして寒さを吹き飛ばしていきたいです。

セラピスト 平野佑馬

第 262 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈

~御寄附ありがとうございました~

国際抜刀道連盟

お菓子沢山